

## TOUCH PARAMETER REFERENCE CHART V1.0

## MIX LEVELS

1. Voices	Off to +6dB	
2. Delay/Reverb	Off to +6dB	
3. Guitar	Off to +24dB	
4. Guitar Effects	Off to 0dB	
5. Aux In	Off to 0dB	
6. USB In	Off to 0dB	

## SETUP MENU (MIXボタン後に左右ボタン)

本体全体の動作に関わるパラメーターを内包しています。セットアップ・メニューのパラメーターは、プリセットの変更時にも設定は変わらないグローバルな扱いとなります。設定をエディットした場合、電源を落として再投入しても以前のエディット内容は保持されます。

1. Phantom Power	Off, On	コンデンサー・マイク使用時に48Vファンタム・パワーの供給をオン/オフ
2. Tone Style:	Off	
	1 Normal	ノーマル
	2 Less Bright	ブライトネス制御
	3 Normal + Warmth	ノーマル+温かみ
	4 More Compression	コンプ
	5 Normal No Gate	ノーマル、ゲートなし
	6 Less Bright No Gate	ブライトネス制御+ゲート
	7 Warmth No Gate	温かみ+ゲート
8 More Comp No Gate	コンプ+ゲート	
3. Pitch Correct Amount	0-100%	自動クロマチック・ピッチ補正の適用量を指定します。設定の始点として、50%からはじめるとよいでしょう。
4. Guitar FX Style:	Off	ギター用リバーブと $\mu$ MOD エフェクトの組み合わせを、スタイルを指定する形で設定します。Offは使用しない。
	1 Thicken + Hall	厚みを加えるシッケニング (ディチューン) とミディアム・ホール・リバーブの組み合わせ
	2 Hall	ホール・リバーブのみ
	3 Thicken + Room	シッケニング+スモール・ルーム・リバーブ
	4 Room	スモール・ルーム・リバーブのみ
	5 Thicken + Arena	シッケニングとロング・アリーナ・リバーブの組み合わせ
	6 Arena	アリーナ・リバーブのみ
7 Thicken	シッケニングのみ	
5. Output	Stereo	左右 1/4" TRS 出力をステレオ PA に送る際に選びます。
	Mono	XLR アウト端子を使用する際に選びます。
	Dual Mono	エフェクト付きのモノラルのギターとヴォーカルのバランスを外部機器で調整する際に選びます。ヴォーカルはレフト側の TRS アウトから、ギターはライト側の TRS アウトから出力されます。
6. USB	Stereo	コンピューターからのオーディオが Touch のメイン・アウトにミックスされます。Touch の USB アウトからは、全てのエフェクトと、ギター (エフェクト含む) が出力されます。
	Track	USB インの扱いは上記 Stereo 設定時と同様です。USB アウトはレフト側にドライ・ヴォイス、ライト側にギターとなります。アナログ・アウトは、モニタリング用の通常のステレオ・アウトとなります。
	Insert	USB インは、外部からのヴォーカルとギター・トラックを入力する想定となります。USB のレフト側にはドライ・ヴォイスを送りハーモニーとエフェクトを施し、USB のライト側にはドライのギターやコードの楽器を送りハーモニーのコントロールに使用します。USB アウトの扱いは上記 Stereo 設定時と同様です。
7. Tap Global	Off, On	DELAY ボタンでタップしたテンポを全てのプリセットに適用する (On 時) か、プリセットに保存されている値を適用する (Off 時) を指定します。
8. Key & Scale Global	Off, On	ハーモニー・エディット・メニューで設定したキーとスケールを全てのプリセットに適用する (On 時) か、プリセット毎に異なる設定を使用する (Off 時) を指定します。
9. NaturalPlay Global	Off	ハーモニー・エディット・メニューで指定した NaturalPlay コントロール機器の設定をプリセット単位で保存できます。一つのお気に入りではギター、別のお気に入りではMIDI、といった使い分けが可能です。
	Auto	ハーモニー・コントロールに使用する機器を、外部機器の接続状況に合わせて自動的に設定します。
	Guitar	ギター・イン端子のみを使用します。
	MIDI	MIDI イン、または USB からの MIDI 情報のみを使用します。
	Aux	AUX IN 端子、または USB からの信号のみを使用します。
	Scale	全てのプリセットとお気に入り、固定のキーとスケールを使用します。
	Shift	グローバル・ハーモニーをシフト・モードに設定します。
	Notes	単一 MIDI チャンネルの MIDI ノート情報を使用します。
	Notes 4 Channel	MIDI チャンネル 4 つの MIDI ノート情報を使用します。
※注意	ハーモニー・エディット・メニューの NATURALPLAY パラメーターもご参照ください。	
10. Pedal	※機能	Switch 3 フットスイッチ (別売) の割り当てを選びます。
	1 Harm Favorite Loop	Harmony / Favorite / Loop
	2 Loop Stop Undo	Loop / Stop / Undo+Redo
	3 Loop Left Right (arrows)	Loop / 左ボタン / 右ボタン
	4 Talk Bank Favorite	Talk / Banks / Favorite
	5 Harm Bank Favorite	Harmony / Banks / Favorite
	6 Harm Preset10s Preset1s	Harmony / 10 移動 / 1移動
	7 Talk Preset10s Preset1s	Talk / 10 移動 / 1移動
8 Harm Stop Loop	Harmony / Stop / Loop	
11. MIDI Channel	1-16	外部コントローラーの MIDI 出力とチャンネルを一致させます。Off にすると、MIDI 入力は無視されます。

## MIDI MENU (MIXボタン後に左右ボタン)

1. MIDI Channel		ハーモニーのコントロールと、プリセットまたはお気に入りの切り替えに使うMIDI受信チャンネルを指定します。オフに設定すると、全チャンネルが無効となります。
2. Filter	※機能	ハーモニーのコントロールと、プリセットまたはお気に入りの切り替えに使うMIDI受信チャンネルを指定します。
	None	全チャンネルが無効となります。
	Program Change	プログラム・チェンジの受信を無視
	System Exclusive	システム・エクスクルーシブの受信を無視
	Prg Change + Sysx	上記2つの受信を無視

3. CC Channel		MIDI ボリューム (#7) 等の、CC (Continuous Control = コンティニューアス・コントロール) 情報の MIDI 受信チャンネルを指定します。デフォルトの設定は1です。オフにすると、全 MIDI チャンネルのCC メッセージを無視
4. Transpose	+/- 4 Octaves	MIDI Notes プリセットのハーモニー・ヴォイスをオクターブ単位でシフトさせます。MIDI キーボードをスプリットして一部からハーモニーをコントロールしたい際に便利です。設定の単位はオクターブです。
5. Keyboard Split	Above	キーボードをスプリットさせたい場合、SplitNote で指定した音程の上の情報を使用する
	Below	キーボードをスプリットさせたい場合、SplitNote で指定した音程の下の情報を使用する
6. Keyboard Split Note	C-1 to G9	キーボードをスプリットする音程を指定します。
7. Sysex ID #	0-126, Any	システム・エクスクルーシブID を指定します。SysEx エディターから複数台の VoiceLive Touch を接続する場合、各機に個別のID を与えることにより個別にエディットすることができます。
8. Vibrato Wheel Boost	Boost, Manual	プリセットにビブラートが含まれている場合、MIDI キーボードのモジュレーション・ホイールでビブラートをコントロールできます。このパラメーターは、そのビブラート効果の動作を指定します。デフォルトのBoost (ブースト) の設定では、ホイールがプリセットの設定値以上になるとビブラートを追加し、ホイールを元に戻すと元の量に戻ります。Manual (マニュアル - 手動) の設定では、一度ホイールを動かすとホイールが優先され、フルレンジのコントロールが得られます。ビブラートの量をプリセットに元々保存されていた設定に戻すには、同じプリセットを再度
9. Pitch Bend Range	0-12 Semitones	MIDI ピッチベンド情報がヴォイスのピッチシフトの音程を変化させるレンジを、セミトーンで指定します。
10. MIDI Control	※機能	MIDI と USB 端子経由でMIDI 情報を受信でき、その使用する端子を選びま
	Merge (デフォルト)	キーボード・コントローラーの MIDI データ (ノートならびにCC) を MIDI IN 端子で、システム・エクスクルーシブ (プリセットならびにアップデート) データをUSB 端子で受信します。VoiceSupport からプリセット設定を流し込んだ直後にキーボード・コントローラーからその設定を確認できま
	MIDI	キーボード・コントローラーとシステム・エクスクルーシブ両方の情報を、MIDI 端子でのみ受信します。USB 端子経由の MIDI 情報は無視されま
	USB	この設定にすると、USB を必要とする VoiceSupport 経由のアップデート機能は使えなくなります。その場合MIDI 端子経由でアップデートを行うことは可能ですが、SysEx アプリケーションを使って正しい SysEx ヘッダーと SysEx情報を送る必要があります。USB を使用せずにアップデートを行う必要が生じた場合には、TC-Helicon サポートまでご相談ください。キーボード・コントローラーとシステム・エクスクルーシブ両方の情報を、USB 端子でのみ受信します。DAW/MIDI シーケンサー・ソフトウェアからノート情報を送る使用環境で、VoiceSupport のバージョン・アップデート機能も使用したい場合に選択します。

### ADVANCED MENU (MIXボタン後に左右ボタン)

1. Scroll Speed	10(fastest) to 50(slowest)	テキストのスクロール速度を指定します。デフォルトの値は25で、低い程速く、高い程遅くなります。
2. Lead Mute	Off, On	全プリセットのドライ・リード・ヴォイスをオフにします。VoiceLive Touch をミキサーのエフェクト・センド/リターンに接続してミキサー側でドライ/ウェット・バランスを調節する場合に適しています。この場合、VoiceLive Touch 側でドライ音を切る設定となっているHardTune とメガホン・エフェクトのプリセットでは、ミキサー側からドライ音が出力されてしまい効果が損なわれる可能性がある点にご注意ください。
3. Lead Delay	None,Voices	ハーモニーとダブリング・ヴォイスの内部処理には若干の遅延が生じるため、ドライ・リード・ヴォイスのタイミングを遅らせることでタイミングを揃えます。デフォルトの設定であるNONE (なし) に設定すると、リード・ヴォイスは最小のレイテンシーが得られる設定となります。VOICE SYNC (ヴォイス・シンク) に設定すると、リード・ヴォイスにタイミングを揃えるためのディレイが施されます。
4. Guitar Mute	Off, On	GUITAR THRU ジャックにケーブルが挿されていない時にメイン・アウトプットからギターをミュートさせます。ギターのドライ信号を外部ミックスすることが可能となります。ギターの信号は、NATURALPLAY ハーモニーとチューナーには送られ続けます。
5. Loop Undo	Off, On	アンドゥ機能をオン/オフできます。オフにすると、オーバーダブをアンドゥできなくなる代わりに、ループの許容量が倍となります。
6. Loop Feedback	0-100%	オーバーダブ時に、ループ再生のレベルをフェードさせることができます。デフォルトの設定は98%です。ループを唐突に停止させるのではなく徐々にフェードさせたい際に、値を下げます。
7. Output Level	Off to 0dB	全体的な出力レベルを下げるすることができます。接続先のミキサーの許容最大入力レベルがVoiceLive Touchの最大出力レベルより低く音が歪んでしまう、といった場面に使用します。
8. Tuning Reference	420 to 460 Hz	A=440 に対する基準ピッチを変更します。ピアノ等の生楽器でチューニングが落ちている場合などに使用します。ギターのドロップ・チューニングの場合、変更の単位は通常半音であり、100セント以下であることは極めて稀であるため、通常この設定を調節する必要はありません。
9. Demo Mode	Off, On	デモ・モードをオンにすると、10~15秒程でデモ・モードが起動します。デモ・モードが起動すると、再生ボタンを長押ししてデモ・ヴォーカルを再生するプロンプトが表示されます。ヴォーカルの再生中は、プリセットやお気に入りの選択、ならびに他の機能を試すことができます。再生ボタンを再度長押しすると、デモ・ヴォーカルの再生が停止します。このモードはループ機能のメモリーを使用するため、ループの最大許容時間は短縮されます。電源のオン/オフを行ってもデモ・モードの設定は変わりません。デモ・モードを終了するには、ここの設定をオフに

### μ MOD MENU

μMod は、マイクロ・モジュレーションの略です (「μ」は「マイクロ」の科学記号です)。μMod エフェクトは、上品で存在感を気づかせないエフェクトから、クリエイティブな用途向けに原音を意図的に破壊するものまで、幅広いサウンドを作り出すことができます。このエフェクトは、ステレオ・ピッチシフト (ディチューン)、少量のステレオ・ディレイ (ディレイ)、そしてフィルター/フィードバック/モジュレーションの複雑な組み合わせで構成されます。μMod は、60年代以降に一般的となった、クラシクなディチューンやダブリング効果を作り出すことができます。こういったエフェクトは、オン/オフを切り替えないと、観客がその存在に気づくことはありません。μMod では、逆に、時間軸で音が変わ		
1. Level	Off to 0dB	ミックス内のエフェクトの量を設定します。
2. Style	0 Micromod Clone	0 マイクロモジュール・クローン
	1 Micromod wider	1 マイクロモジュール・ワイド
	2 Thicken	2 スイケン
	3 Light Chorus	3 ライト・コーラス

	4 Medium Chorus	4ミディアム・コーラス
	5 Wide Chorus	5ワイド・コーラス
	6 Mono Chorus	6モノラル・コーラス
	7 Fast Rotor	7ファスト・ローター
	8 Flanger	8フランジャー
	9 Flange Feedback	9フランジャー・フィードバック
	10 Flange Negative	10フランジャー・ネガティブ
	11 Mono Flange	11モノラル・フランジャー
	12 Soft Flange	12ソフト・フランジャー
	13 Panner	13パンナー
	14 Tube	14チューブ
	15 Up Tube	15アップ・チューブ
	16 Down Tube	16ダウン・チューブ
	17 Down & Up Tube	17ダウン&アップ・チューブ
	18 Rise & Fall	18ライズ&フォール
	19 Ottawa Wide	19オタワ・ワイド
	20 Cylon Mono	20サイロン・モノラル
	21 Cylon Stereo	21サイロン・ステレオ
	22 Alien Voiceover	22エイリアン・ボイスオーバー
	23 Underwater	23アンダー・ウォーター
3. Lead Level	Off to 0dB	他のエフェクトが一切アクティブになっていない場合、リード（ドライ）ヴォイスを下げる事ができます。必要に応じて、100% エフェクト音のみの効果を作成できます。

#### DELAY MENU

1. Level	Off to 0dB	ミックス内のエフェクトの量を設定します。
2. Style	0 Quarter	0クォーター
	1 Eight	1エイト
	2 Triplet	2トリプレット
	3 Dotted	3ドット
	4 Long Dot	4ロング・ドット
	5 Long Trip	5ロング・トリップ
	6 Sixteenth	6シックスティーン
	7 Ping Pong 1	7ピンポン1
	8 Ping Pong 2	8ピンポン2
	9 Ping Pong 3	9ピンポン3
	10 Multi Tap 1	10マルチタップ1
	11 Multi Tap 2	11マルチタップ2
	12 Multi Tap 3	12マルチタップ3
	13 Multi Tap 4	13マルチタップ4
	14 Multi Tap 5	14マルチタップ5
	15 Multi Tap 6	15マルチタップ6
	16 Classic Slap	16クラシック・スラップ
	17 Single Slap	17シングルス・ラップ
3. Lead Level	Off to 0dB	ディレイのみがアクティブの場合、リード（ドライ）ヴォイスを下げる事ができます。
4.Width	0 to 100%	いくつかのスタイルは、ステレオ・パンニングを行いません。0%（モノラル）～100%（ステレオ）の範囲でその幅を指定します。

#### REVERB MENU

1. Level	Off to 0dB	ミックス内のエフェクトの量を設定します。
2. Style	0 Smooth Plate	0スムーズ・プレート
	1 Soft Hall	1ソフト・ホール
	2 Amsterdam Hall	2アムステルダム・ホール
	3 Broadway Hall	3ブロードウェイ・ホール
	4 Snappy Room	4スナッピー・ルーム
	5 Library	5ライブラリ
	6 Dark Room	6ダーク・ルーム
	7 Music Club	7ミュージック・クラブ
	8 Studio Live Room	8スタジオ・ルーム
	9 Stretched Room	9ストレッチ・ルーム
	10 Warehouse	10ウエアハウス（倉庫）
	11 Bouncy Room	11バウンシー・ルーム
	12 Real Plate	12リアル・プレート
	13 Reflection Plate	13リフレクション・プレート（反射板）
	14 Thin Plate	14スイン・プレート（薄板）
	15 Bright Chamber	15ブライツ・チェンバー
	16 Bright Plate	16ブライツ・プレート
	17 Real Plate Short	17リアル・プレート・ショート
	18 Real Plate Long	18リアル・プレート・ロング
	19 Wooden Chamber	19ウッデン・チェンバー
	20 Jazz Plate	20ジャズ・プレート
	21 Quick Plate	21クイック・プレート
	22 St Joseph Church	22セントジョセフ・チャーチ
	23 Hockey Arena	23ホッケー・アリーナ
	24 Dome Chapel	24ドーム・チャペル
	25 Museum	25ミュージアム
	26 Indoor Arena	26インドア・アリーナ
	27 Cozy Corner	27コージー・コーナー
	28 Thin Spring	28スイン・スプリング
	29 Full Spring	29フル・スプリング
3. Lead Level	Off to 0dB	リバースのみがアクティブの場合、リード（ドライ）ヴォイスを下げる事ができます。

#### FX MENU

1. HardTune Style	Off	ジェンダー（性別）、オクターブ・シフト、ハードチューン量等のエフェクトを選べます。
	1 Hard Tune	1ハードチューン
	2 Female Gender	2フェマーレ・ジェンダー
	3 Male Gender	3マーレ・ジェンダー
	4 Octave Up	4オクターブ・アップ
	5 Octave Down	5オクターブ・ダウン
	6 Female Octave Up	6フェマーレ・オクターブ・アップ

	7 Male Octave Down	7マーレ・オクターブ・ダウン
	8 Male Octave Up	8マーレ・オクターブ・アップ
	9 Fem Octave Down	9フェマーレ・オクターブ・ダウン
	10 Natural	10ナチュラル
	11 Natural Female Gender	11ナチュラル・フェマーレ・ジェンダー
	12 Natural male Gender	12ナチュラル・マーレ・ジェンダー
2. Transducer Style	1 Lowcut 1	1ローカット1
	2 Lowcut 2	2ローカット2
	3 Bandpass 1	3バンドパス1
	4 Bandpass 2	4バンドパス2
	5 Highcut	5ハイカット
	6 Midcut	6ミディウムカット
	7 Soft Drive	7ソフト・ドライブ
	8 Medium Drive	8ミディウム・ドライブ
	9 Hard Drive	9ハード・ドライブ
	10 Radio	10ラジオ
	11 Radio Drive	11ラジオ・ドライブ
	12 Peak Radio	12ピーク・ラジオ
	13 Boxey Radio	13 ボクシー・ラジオ
	14 Clear Megaphone	14クリア・メガホン
	15 Clip Megaphone	15クリップ・メガホン
	16 Beat Box	16ビート・ボックス
3. Low Cut Frequency	85 Hz to 20kHz	低域をロールオフすることでメガホン・エフェクトを得られます。周波数(単位: Hertz = ヘルツ)を上げる程ローが少なくなります。
4. Transducer Level	-20dB to +20dB	メガホン/ラジオ・エフェクトを施す際に低下したレベルを補正できません。高い設定では、フィードバックが生じやすくなることがあります。
5. Transducer Routing	Off	トランスデューサー・エフェクトをインサートするポイントを選択しま
	Lead	リード・ヴォイスにのみ施されます。ハーモニー、ダブリング、エフェク
	Harmony + Double	ハーモニーとダブリングにのみ施されます。
	Voices	リード/ハーモニー/ダブリング・ヴォイスとそれらのエフェクト・センドに施されます。
	Lead FX	リード・ヴォイスから $\mu$ MOD /ディレイ/リバーブへのエフェクト・センドにインサートされます。リード・ヴォイスはクリーンのままで、他のエフェクト部分のみに加わります。
	Harmony FX	ハーモニー・ヴォイスのエフェクト・センドにインサートされます。リードとハーモニー・ヴォイスはクリーンのままで、ハーモニー・ヴォイスに対するエフェクト部分のみに加わります。

### DOUBLE MENU

ダブリングは通常、単語、フレーズ、コーラスなどを強調する用途に使用します。楽曲を通してエフェクトを使う場合は、TightやDetune等効果の軽いスタイルを選ぶか、LooseやWide等の派手なエフェクトでミックスレベルを下げます。「TIGHT」は短い間隔でダブリング・ヴォイスを生成し、「FLOOSE」は長めの間隔を持ち、よりエフェクト感が増します。

1. Level	Off to 0dB	ミックス内のエフェクトの量を設定します。
2. Style	0 Voice Tight	ボイス・タイト
	1 Voice Loose	ボイス・ルーズ
	2 Voices Wide	ボイスズ・ワイド
	3 Voices Tight	ボイスズ・タイト
	4 Voices Wide	ボイスズ・ワイド
	5 Voices Mono	ボイスズ・モノ
3. Lead Level	Off to 0dB	ダブリングのみがアクティブの場合、リード(ドライ)ヴォイスを下げる ことができます。

### HARMONY MENU

1. Level	Off to 0dB	ミックス内のエフェクトの量を設定します。
2. Style	0 1 Voice Above ( High)	1 ボイス・アバープ
	1 1 Voice Below ( Low)	1 ボイス・アバープ・ベロウ
	2 1 Above 1 Below (Low+High)	1 アバープ・1ベロウ
	3 2 Voices Above (High+Higher)	2 ボイス・アバープ
	4 2 Voices Below ( Lower+Low)	2 ボイス・ベロウ
	5 Far Above Far Below (Higher+Lower)	ファーン・アバープ・ファー・ベロウ
	6 2 Above 1 Below (Low+High+Higher)	2 アバープ・1ベロウ
	7 1 Above 2 Below (Lower+Low+High)	1 アバープ・2ベロウ
	8 2 Above Far Below (Lower+High+Higher)	2 アバープ・ファー・ベロウ
	9 2 Above2 Below (Lower+Low+High+Higher)	2 アバープ・2ベロウ
	10 Gospel High (Low+High+Higher)	ゴスペル・ハイ
	11 Gospel Low (lower+Low+High)	ゴスペル・ハイ・ロウ
	12 Upper Choir (High+Higher)	アッパー・コーラス
	13 Lower Choir ( Low+Lower)	ロウワー・コーラス
	14 Bass Boys ( Low+Lower)	ベース・ボーイズ
3. Double	Off	ハーモニー・ヴォイスに厚みを加えます。
	On	使用しているヴォイスिंग・ボタンそれぞれにヴォイスが加わります。
	Choir	合唱団効果
	Both	ダブリングとクワイヤー効果を同時に使用できます。(On+Choir)
4. Lead Level	Off to 0dB	ハーモニーのみがアクティブの場合、リード(ドライ)ヴォイスを下げる ことができます。
5. NaturalPlay	Auto	ハーモニー・ヴォイスを楽曲に合わせるための音楽的な情報を得る方式を 指定で、Autoは自動。
	Guitar	ギターに入力したコードを元にダイナミックにハーモニーを生成します。
	MIDI	MIDIに入力したコードを元にダイナミックにハーモニーを生成します。
	Aux	AUXに入力したコードを元にダイナミックにハーモニーを生成します。
	Scale	固定のスケールを適用します。
	Shift	キー/スケールは関係なく、固定インターバルでのハーモニーを生成しま
	Notes	ハーモニーの構成を外部 MIDI 機器で指定します。
	Notes 4 Channel	Notes と類似していますが、4つのヴォイスを、セットアップ・メニューで 指定したMIDI チャンネルから4つ数えた個別のMIDI チャンネルでコン ロールします。
	※注意	NaturalPlayの設定をエディットするには、セットアップ・メニューのNAT PLAY GBL パラメーターをオフにする必要があります。
6. Key	C to B	C から半音づつ B まで
7. Scale	M1(Major1), M2(Major 2), M3(Major 3)	NATURALPLAY を Scale に設定している場合、ハーモニーを、指定した キーの3つのメジャー (M) スケールから選べます。

	m1(Minor1), m1(Minor 2), m1(Minor 3)	NATURALPLAY を Scale に設定している場合、ハーモニーを、指定したキーの3つのマイナー (m) スケールから選べます。
	※注意	SCALE のハーモニーは多くの楽曲で使用できるものの、全ての楽曲に対応する訳ではありません。使用するには、ハーモニーがオンのプリセットをロードして、楽曲に合ったスケールを探します。スケールが「Cu」(ニカスタム)と表示される場合は工場出荷時の設定として特殊なインターバルを含むスケールとなっています(通常はドローン・ノート)。VoiceLive Touch は、ユーザーによるカスタム・スケールの作成には対応しておりません。
<b>HARMONY VOICE MENUS</b>		
1. Level	Off to 0dB	ヴォイスのボリュームを調節します。
2. Pan	Left, 99 to 0, Center, 0 to 99, Right	ヴォイスの左右位置を調節します。出力がステレオに設定されていて、ステレオのPA またはヘッドフォンに接続している場合にのみ有効です。
3. Gender	-50(Male) to 50(Female)	(性別)ハーモニー・ヴォイスの声質を調節します。 -50の設定では極端に深い声となり、50 では極端に芯が細くなります。

<b>MY DATA</b>		
1. リセット	本体	電源を投入し、バージョン番号が表示されている間に、BASS / LOW / 一番上のハーモニー・ヴォイス・ボタンを同時に長押しして、「Factory Init」と表示されたら離します。
	個別プリセット、お気に入り	VoiceSupport のPRESETS ウィンドウでプリセットを削除して、APPLY CHANGES を押します。
2. ロックアウトモード	スリープ・モード	全ての機能と出力が無効となります。電源オフと類似した状態となります。スリープするにはFAVORITES 1 と 5を同時に長押しします。スリープから復帰するにはスライダーをダブルクリックします。
	ブレイク・モード	セット間の休憩時等を想定したモードです。USB と AUX を除く出力はミュートされます。これは、バックグラウンドの音楽だけは出力させ続けることができる配慮です。また、他人が設定を変更してしまうことを防ぐために、タッチパネルはロックされます。ブレイク・モードに入るにはFAVORITES 2 と 5を同時に長押しします。モードを終了するにはスライダーをダブルクリックします。
	ロック・モード	FAVORITES と TALK を除く全ての操作がロックされます。複数のシンガーにそれぞれ1台の VoiceLive Touch が用意されている状態に適しています。グループのリーダーが全員の設定を事前に行なっておき、各シンガーはステージ上でシンプルな設定の切り替えのみを行なう、といった使い方を想定しています。ロック・モードに入るにはFAVORITES 3 と 5を同時に長押しします。モードを終了するにはFAVORITES 3 と 5を同時に長押しします。
3. スライダー	スワイプ	スライダーの一部、または全体をすばやくなぞって離すと、パラメーター値やプリセット番号が回り始めます。繰り返しスワイプすると、動作が続きます。移動中にシングル・タップすると、スクロールが止まります。
	ドラッグ	指を添えたままスライダー上をゆっくりと動かすと、値を正確に調節できなくなります。
4. 信号名	ドライ信号(Dry)	原音のこと
	ウェット信号(Wet)	エフェクト音のこと